

## 平成24年度事業所母集団データベース研究会報告書 ー抜粋ー

## 第4 諸外国におけるビジネスレジスターの運用事例

## 1 カナダ

- カナダでは、複雑な構造を持つ約2万6千企業のうち、上位5千社を対象に重点的にプロファイリングを実施し、集中的にデータを整備している。
- プロファイラーとして平均38名の職員（全員公務員）を配置し、企業への直接訪問、電話による確認等を行い、毎日情報を更新している。
- プロファイリングの対象外である約2万1千社については、行政記録、各種統計調査等の情報をもとに最新の母集団情報に更新される。
- 統計調査の標本抽出においては、悉皆層の設定の仕方として、以下の2種類がある
  - ① 規模（収入）の大きいもの
  - ② 規模とは関係無いが、重要であると想定されるもの
- カナダにおいて経済センサスと同等な意味を持つ統一企業調査（60統計調査）の標本は、ビジネスレジスターから抽出する。  
また、規模の大きさに下位10%に含まれる企業は調査対象から除外し、行政記録で補完する。  
詳細については参考8を参照。

## 2 イギリス

- イギリスにおけるプロファイリングとは、企業情報について一定の基準を設定し、その基準を満たした「問題のある企業」について、企業構造の把握（従業者数・売上高等の確認）を実施することである（2,500企業/年）。
- イギリスでは、プロファイリング業務に8名の職員（全員公務員）を配置している（ビジネスレジスター業務全体では72名配置）。
- プロファイリングの手法として、直接訪問、電話、メールによるやりとりを活用している。
- プロファイリングの他に、ビジネスレジスター整備の重要な情報源として、ビジネスレジスター・雇用調査がある。  
ビジネスレジスター・雇用調査（以下、BRES）は、ビジネスレジスターに記録されている企業についての最新情報の把握及び活用している行政記録情報の関連づけのために実施している。（悉皆・標本調査の併用、全体で80,000企業）
- BRESの調査単位は企業であり、調査対象のうち、悉皆対象については、企業規模、企業構造の複雑性等から判断し抽出している。
- BRESで調査された情報は、英国統計局のホームページ上で、地域、産業別等の結果表を作成し、公表している。  
詳細については参考9を参照。